

鋼板の形状及び寸法の許容差

厚み許容差

熱間圧延鋼板 (JIS G 3193)

単位：mm

厚さ	幅	1600未満	1600以上2000未満	2000以上2100以下
1.60以上2.00未満		±0.19	±0.23	—
2.00以上2.50未満		±0.20	±0.25	—
2.50以上3.15未満		±0.22	±0.29	±0.29
3.15以上4.00未満		±0.24	±0.34	±0.34
4.00以上5.00未満		±0.45	±0.55	±0.55
5.00以上6.30未満		±0.50	±0.60	±0.60
6.30以上10.0未満		±0.55	±0.65	±0.65
10.0以上16.0未満		±0.55	±0.65	±0.65
16.0以上25.0未満		±0.65	±0.75	±0.75
25.0以上40.0未満		±0.70	±0.80	±0.80
40.0以上50.0以下		±0.80	±0.95	±0.95

建築構造用圧延鋼板 (JIS G 3136)

単位：mm

厚さ	幅	1600未満	1600以上2000未満	2000以上2500未満
6.00以上6.30未満		+0.70	+0.90	+0.90
6.30以上10.0未満		+0.80	+1.00	+1.00
10.0以上16.0未満		+0.80	+1.00	+1.00
16.0以上25.0未満		+1.00	+1.20	+1.20
25.0以上40.0未満		+1.10	+1.30	+1.30
40.0		+1.30	+1.60	+1.60

備考：1. マイナス側の許容量は0.3mmとする。

2. 厚さの測定箇所は、圧延のままの鋼板（耳付鋼板）の場合は、幅切断予定線より内側の任意の点、カットエッジの鋼板の場合は、その縁から15mm以上内側の任意の点とする。

幅の許容差

単位：mm

幅	厚さ	許 容 差					
		ミルエッジ	カ ッ ト エ ッ ジ				
			圧延のままの鋼板 (耳付鋼板)	鋼帯からの 切板	A 通常の切断方法によったもの		B 再切断又は精密切断を行ったもの
+	-	+			-		
630以上 1000未満	3.15未満			10		4.0	
	3.15以上6.00未満	+規定せず 0	+25 0	10	0	4.0	0
	6.00以上20.0未満			10		6.0	
	20.0以上			15		—	
1000以上 1250未満	3.15未満					10	
3.15以上6.00未満	+規定せず 0	+30 0	10	0	4.0	0	
6.00以上20.0未満			15		6.0		
20.0以上			15		—		
1250以上 1600未満			3.15未満				10
3.15以上6.00未満	+規定せず 0	+35 0	10	0	4.0	0	
6.00以上20.0未満			15		6.0		
20.0以上			15		—		
1600以上 2000未満			3.15未満				10
3.15以上6.00未満	+規定せず 0	+40 0	10	0	4.0	0	
6.00以上20.0未満			20		6.0		
20.0以上			20		—		
2000以上 2100以下			3.15未満				10
3.15以上6.00未満	+規定せず 0	+40 0	10	0	4.0	0	
6.00以上20.0未満			20		6.0		
20.0以上			20		—		

長さの許容差

単位：mm

A 普通の切断方法によったもの		B 再切断又は精密切断を行ったもの		
長さ	許容差	長さ	厚さ	許容差
600以上 4000未満	+20 0	6300未満	6.00未満	+5 0
4000以上 6000未満	+30 0		6.00以上	+10 0
6000以上 8000未満	+40 0	6300以上	6.00未満	+10 0
8000以上10000未満	+50 0		6.00以上	+15 0
10000以上15000未満	+75 0	備考: 1. 許容差Bは、厚さ20mm以上には適用しない。		
15000以上20000未満	+100 0			

鋼板の平坦度の最大値

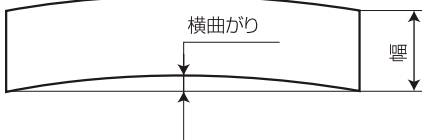
単位：mm

厚さ	測定長さ			
	2000			
	板幅			
	1250未満	1250以上1600未満	1600以上2000未満	2000以上
1.60未満	18	20	—	—
1.60以上3.15未満	16	18	20	—
3.15以上4.00未満		16		—
4.00以上5.00未満		14		24
5.00以上8.00未満		13		21
8.00以上15.0未満		12		16
15.0以上25.0未満		12		16
25.0以上40.0未満		9		13
40.0以上50.0以下		8		11

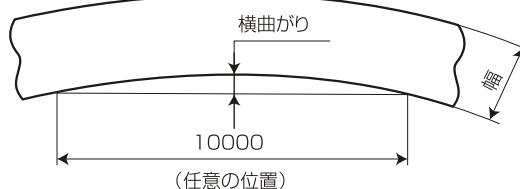
備考: 1. 上表は任意の長さ2000mmについて適用し、長さ2000mm未満の場合には全長について適用する。また、波のピッチが2000mmを超える鋼板については、その波のピッチの長さにおいて適用する。ただし、波のピッチが4000mmを超える鋼板については、任意の長さ4000mmについて適用する。
 2. 平坦度の値は、ひずみ最大値から鋼板の厚さを引いたもので、鋼板の上側の面に適用する。
 3. 圧延のままの鋼板（耳付鋼板）には適用しない。

鋼板の横曲がり

〈鋼板の長さ10000mm未満〉



〈鋼板の長さ10000mm以上〉



備考:
 1. 鋼板の横曲がりの最大値は、鋼板の長さの0.2%以下とし、鋼板の横曲がりも適用は、左図による。
 なお、圧延のままの鋼板（耳付鋼板）には適用しない。

鋼板の外観

- 鋼板には使用上有害な欠陥があってはならない。
- 鋼板の表面に有害な欠陥のある場合、グラインダーにより欠陥の除去を行うことがある。ただし、この場合の条件は次のとおりとする。
 - 鋼板の手入れ後の厚さは、厚さの許容差範囲内のもの。
 - 鋼板の手入れ部分はきれいに仕上げられており、圧延のままの面との境は滑らかなもの。

その他

- 高張力鋼板・縞鋼板・模様鋼板の形状及び寸法の許容差等は前項によります。